

# 在宅服薬支援事業 「高知家お薬プロジェクト」による 適切な薬物治療の確保と 多職種連携のさらなる強化



高知県健康政策部 薬務衛生課

茂田 学

# 在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」とは

## <目的>

医療・介護関係者が連携（多職種連携）し、在宅患者の服薬状況を改善することにより、  
薬物治療の効果を高める。

本事業を通して

**多職種・多機関の連携体制を強化**



**安心して在宅医療（療養）ができる環境整備**



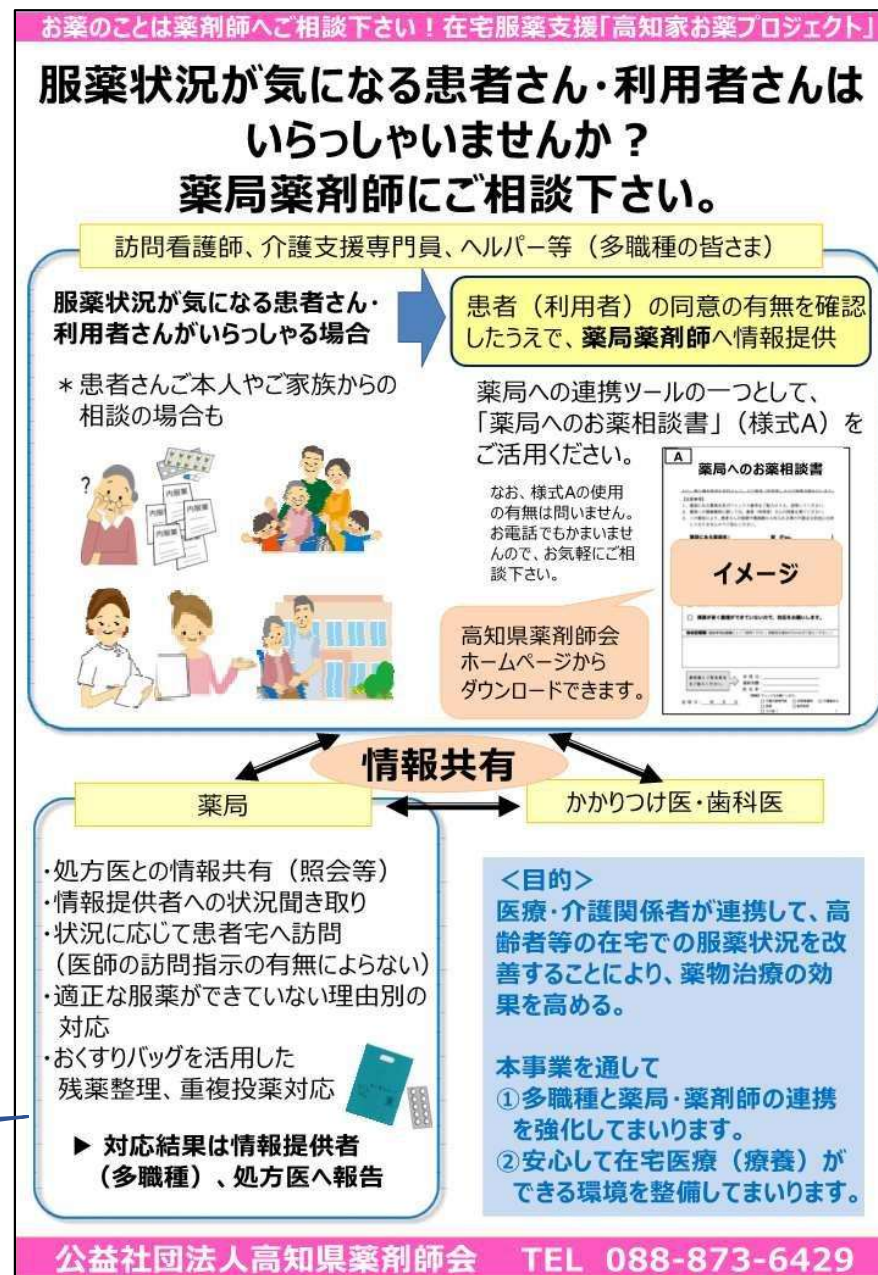
# 在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」とは

平成28年度 事業開始  
モデル地区  
(南国市、香美市、香南市)

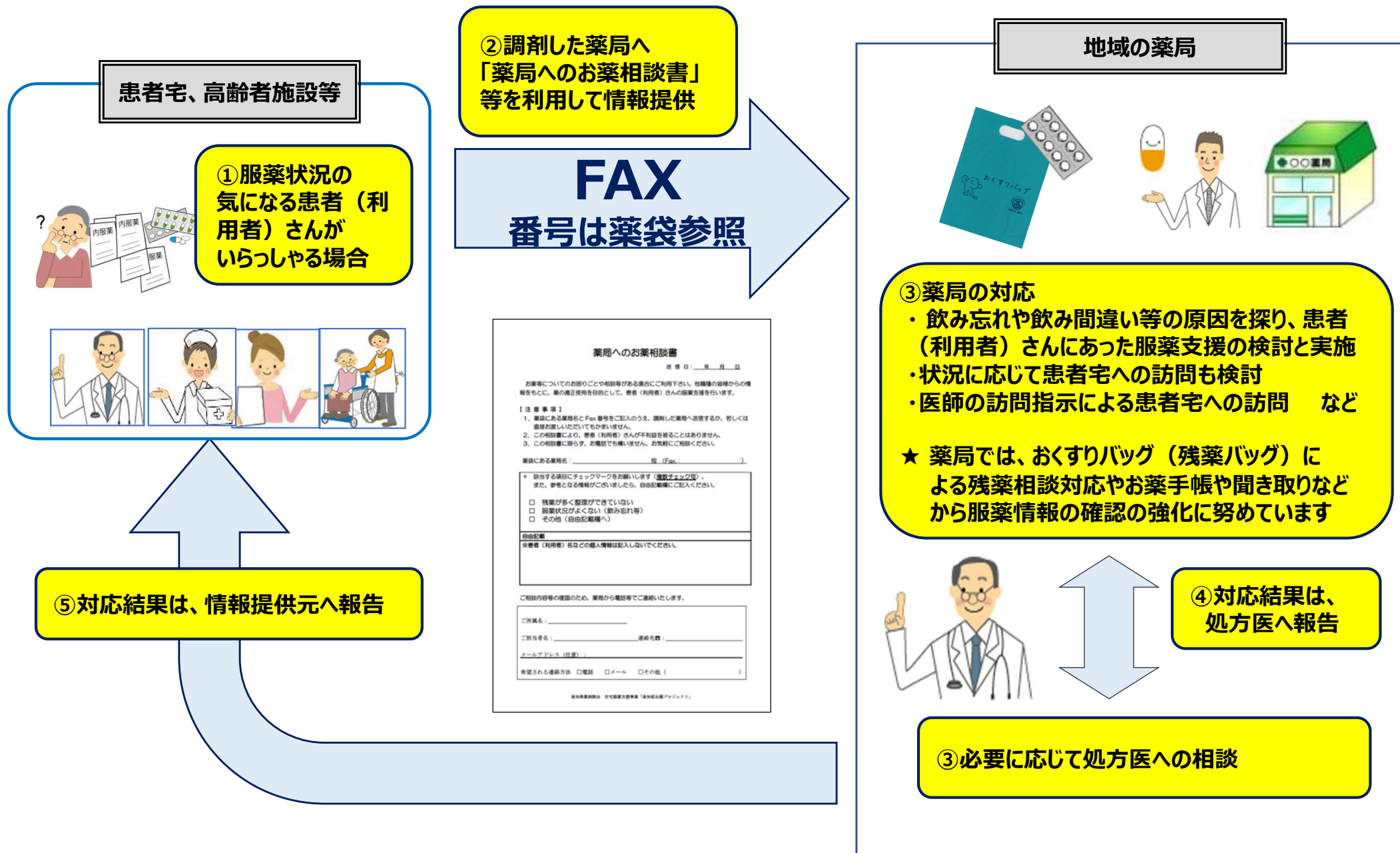
平成29年度  
モデル地区  
(高知市、南国市、香美市、  
香南市、嶺北地域)

平成30年度～  
高知県全薬局で取り組み

取り組みPRのチラシ（当時）



# 在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」の流れ



# 介護・医療従事者のお困りごと

服薬状況の気になる在宅患者や施設入所者等への対応をどのようにしたらよいか

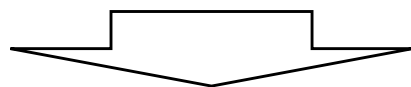
○薬をよく飲み忘れたり、飲み間違えたりする方

○薬がたくさん余っている方

○薬の袋がたくさんあって、  
どれを飲んでいるのか分からないため、整理が必要な方

○中止、期限切れなど明らかに不要な薬があり処分が必要な方

など



誤薬の防止等の専門外の業務による時間的・精神的負担増





# 薬局への相談

## ○薬局へのお薬相談書

- 訪問看護師、介護支援専門員、ホームヘルパー等（医療・介護従事者）と薬剤師の**連携をサポートするツール**（薬局への相談は、この**相談書の使用に限りません。**）
- 様式は高知県薬剤師会ホームページからダウンロードできます。

患者名を  
無記名式に変更

### 薬局へのお薬相談書

送 信 日： 年 月 日

お薬等についてのお困りごとや相談等がある場合にご利用下さい。他職種の皆様からの情報をもとに、薬の適正使用を目的として、患者（利用者）さんの服薬支援を行います。

#### 【 注 意 事 項 】

1. 薬袋にある薬局名と Fax 番号をご記入のうえ、調剤した薬局へ送信するか、若しくは直接お渡しいただいてもかまいません。
2. この相談書により、患者（利用者）さんが不利益を被ることはありません。
3. この相談書に限らず、お電話でも構いません。お気軽にご相談ください。

薬袋にある薬局名： 宛（Fax： ）

\* 該当する項目にチェックマークをお願いします（複数チェック可）。  
また、参考となる情報がございましたら、自由記載欄にご記入ください。

- ☐ 残薬が多く整理ができていない
- ☐ 服薬状況がよくない（飲み忘れ等）
- ☐ その他（自由記載欄へ）

#### 自由記載

※患者（利用者）名などの個人情報は記入しないでください。

ご相談内容等の確認のため、薬局から電話等でご連絡いたします。

ご所属名：

ご担当者名： 連絡先 ☎：

メールアドレス（任意）：

希望される連絡方法 ☐ 電話 ☐ メール ☐ その他（ ）

# 薬剤師の対応

- 飲み忘れや飲み間違いなどの原因を探り、その方にあった服薬支援の検討・実施（フォローアップの一環）

（具体例）

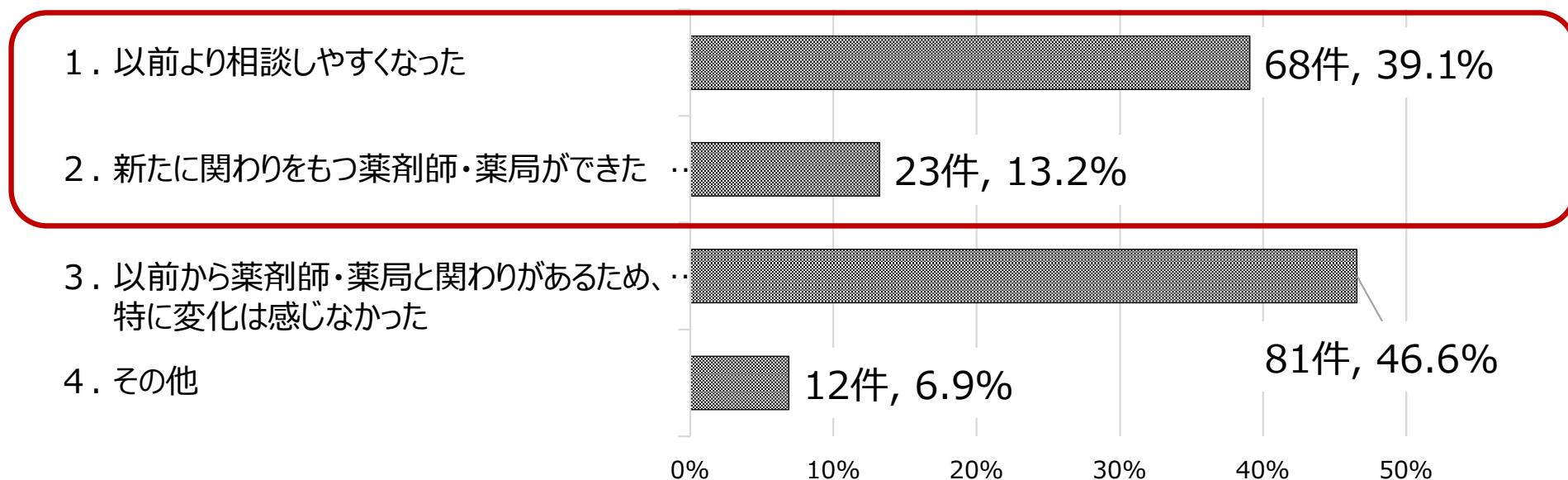
- ・ 情報提供者への状況聞き取り
- ・ 状況に応じて患者宅へ訪問  
（医師の訪問指示の有無によらない）
- ・ 適正な服薬ができていない理由別の対応



など、個々の在宅患者や施設入所者等に合わせた対応

※対応結果は、情報提供者（医療・介護従事者）、処方医、家族等の関係者へ報告をお願いします。

◆ 在宅服薬支援事業「高知家お薬プロジェクト」を通じた  
薬剤師・薬局に対する意識や行動の変化



▶ その他の内容

- ・顔の見える関係になり、仕事がしやすくなった



## 薬剤師・薬局へのご意見

- ・独居で服薬等に困っている方などへの対応は、ケアマネや事業所も不安な面が多々あるが、薬剤師さんの存在が心強い
- ・薬に関すること以外の情報提供も詳しくいただくことで、利用者の異常を早期発見し、適切な対処につながっている
- ・薬のことを聞くには、直接医師に確認したりしていたこともあったが、薬剤師が間に入ってくれることでスムーズに話ができるようになった



## 薬剤師・薬局に期待すること 等

- ・疑義照会や一包化、薬の形状変更等、踏み込んだアドバイスが欲しい
- ・独居、認知症の方の服薬管理の助言が欲しい
- ・複数の病院や薬局を利用している方への対応方法を教えて欲しい
- ・目的や必要性を十分に理解出来ていないことから自己判断で服薬を中断する例も少なくない。このような状況を改善するため継続的に服薬を支援して欲しい
- ・残薬有無の確認、服薬困難な場合の対応、お薬手帳の一冊化などを薬剤師からも声掛けして欲しい
- ・同行訪問等により、在宅患者の生活環境の把握をお願いしたい
- ・チームでのアプローチを強化するため、サービス担当者会に参加していただきたい
- ・他職種向けに、薬の副作用や注意事項に関する研修や指導をして欲しい



# 今後の取り組み

## ○他職種への「お薬プロジェクト」の周知と実践

- ・多職種連携地域検討会
  - ・高知県訪問看護連絡協議会
  - ・高知県介護支援専門員連絡協議会
  - ・高知県ホームヘルパー連絡協議会
- 等

**服薬状況が気になる患者さん・利用者さんは いらっしゃいませんか?**  
薬局・薬剤師にご相談下さい。

訪問看護師、介護支援専門員、ホームヘルパー等(医療・介護従事者の皆さま)

お薬の飲み忘れ、飲み残しなどが気になる患者さん・利用者さんがいらっしゃる場合  
※患者さんご本人やご家族からの相談がある場合もあります

かかりつけ薬局・薬剤師へ情報提供

かかりつけ薬局・薬剤師への連携ツールの一つとして、「薬局へのお薬相談書」をご活用ください。  
なお、様式の使用の有無は問いません。  
お電話でもかまいませんので、お気軽にご相談下さい。

高知県薬剤師会 ホームページからダウンロードできます。

**情報共有**

かかりつけ医・歯科医

薬局

**事業目的**  
医療・介護従事者が連携して、患者(利用者)の服薬状況を改善することにより、薬物治療の効果を高めます。  
**本事業を通して**  
●医療・介護従事者と薬局・薬剤師の連携を強化します。  
●安心して在宅医療(療養)ができる環境を整備します。

●情報提供者への状況聞き取り  
●状況に応じて患者宅へ訪問(医師の訪問指示の有無によらない)  
●適正な服薬ができていない理由別の対応  
▶対応結果は情報提供者(医療・介護従事者)、処方医へ報告

高知県薬剤師会 TEL 088-873-6429

## ～ まとめ ～

「薬局へのお薬相談書」が薬局に届きましたら、  
ご対応をよろしくお願いいたします。



(参考) 「薬局へのお薬相談書」は、公益社団法人高知県薬剤師会ホームページに  
掲載しています。 <https://www.kochi-kenyaku.org/homev/>